



かつおのお話（中）



みなさん、こんにちは。今日はかつおのお話です。

かつおは、1年の間に長い距離を移動する魚です。この移動は海の温度と大きな関わりがあります。春になり海の温度が温かくなると、かつおの群れは九州の鹿児島県を出発して、夏までに北海道の近くまで到達します。そして、秋以降寒くなると、来た道を引き返すように九州まで戻っていきます。この移動の速さは時速60 kmにもなり、車と同じくらいです。かつおは、水中で止まると死んでしまうので、常に泳ぎ続けています。

かつおには旬が2回あります。1回目の旬は、北に移動している3月から5月の春の時期で「初がつお」と呼ばれています。脂が少なく、うまみが強いのが特徴です。2回目の旬は、南に向かう9月から11月の秋の時期で「戻りがつお」と呼ばれます。脂がのっていて、濃厚な味わいです。

今日の給食には宗田かつおのおかか煮そうだが出ます。旬の食材を味わって食べましょう。